

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
柳 守彦

挑戦を重ね、新たな価値を創造する企業へ。

大旺工業株式会社は、1961年の創業以来、ものづくりを通じてお客様の期待に応え、新しい技術や設備、新しい市場へ挑戦し続けてまいりました。これからは、精密板金加工を基盤に、部品加工中心の企業から設計・製造・組立までを担う完成品メーカーへ進化し、2035年の売上高100億円達成を目指します。利益は人材育成や設備投資、技術開発へ積極的に還元し、社員、お客様、地域社会とともに成長しながら、社会から必要とされ続ける企業を目指して挑戦を続けてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に目標を達成するため、部品加工中心の事業構造から、高付加価値な完成品OEM事業へ転換し、半導体、医療、環境関連分野など成長市場への展開を加速することで、収益性と企業価値を高める。100億円達成を通過点として、社員の成長と処遇改善、技術・設備への継続投資を実現し、社会から必要とされる企業を目指す。

課題

- ① 人材の確保・育成
- ② 高付加価値事業への転換
- ③ 設備投資と生産性向上
- ④ 新市場への事業展開
- ⑤ 経営基盤の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

当社は、「既存事業の持続的な成長」と「新市場の育成」を両輪とした成長戦略を推進する。既存事業では、生産性向上、品質向上、提案力強化により市場シェアの拡大を図る。一方、新市場では、高付加価値分野への展開を進め、設計・製造・組立までを担うOEM完成品事業を拡大する。また、継続的な設備投資、DX推進、人材育成を成長の基盤とし、2036年に売上高110億円規模、既存事業約70%・新市場約30%のバランスの取れた事業構造の実現を目指す。

実施体制

100億円実現に向けた取組は、経営トップが責任者となり、全部門が一体となって推進する。営業部門は市場開拓と新規顧客の創出、生産部門は品質・生産性向上、技術部門は新技術・新工法の開発、管理部門は人材育成・財務基盤強化を担い、それぞれが経営目標を共有しながら取り組む。また、中期経営計画に基づくKPI管理を毎年度実施し、進捗状況を検証・改善するPDCAサイクルを確立することで、変化する経営環境へ柔軟に対応しながら、100億円企業への成長を着実に実現する。



（大泉工場）

- 本社所在地：東京都千代田区神田東松下町17番地 伊東ビル3階
- 事業概要：設計から組立まで対応する総合製造業務
- 常時使用する従業員：87名
（2025年9月時点）
- 現在の売上高：18億円
（2025年9月期）
- 法人番号：4070001019574
- Web： <https://www.taiyo-kg.co.jp>

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高110億円超を実現し、 新たな価値を創造する企業へ

2025年決算売上18億円を基準に、既存事業の拡大と新市場への展開を両輪に、2036年に売上高110億円超（目標112億円）を達成する。
既存事業では約5倍の拡大を目指すとともに、新市場（半導体・医療・環境関連分野等）を着実に成長させ、設計・製造・組立までを担うOEM完成品メーカーへ進化する。

売上高計画の考え方

区分	2025年（実績）	2036年（目標）	伸長倍率
既存事業（合計）	12.6億円	77.6億円	約4.9倍
新市場 （半導体・医療・環境関連分野等）	5.4億円	34.4億円	約6.4倍
合計	18.0億円	112.0億円	約6.2倍

※2025年は実績値、2026年以降は計画値 ※2025年実績は決算数値に基づく

課題

① 人材の確保・育成

設計・開発・品質保証・生産管理など多様な人材の確保と育成が急務。
採用力強化と教育体制の充実により、成長を支える人材基盤を構築する。

② 高付加価値事業への転換

部品加工中心から、設計・製造・組立までを担うOEM完成品メーカーへ転換し、収益性の高い事業構造を確立する。

③ 設備投資と生産性向上

旺興園新工場を中核に、最新設備の導入とDX・自動化を推進し、生産性・品質・納期対応力の向上を図る。

④ 新市場への事業展開

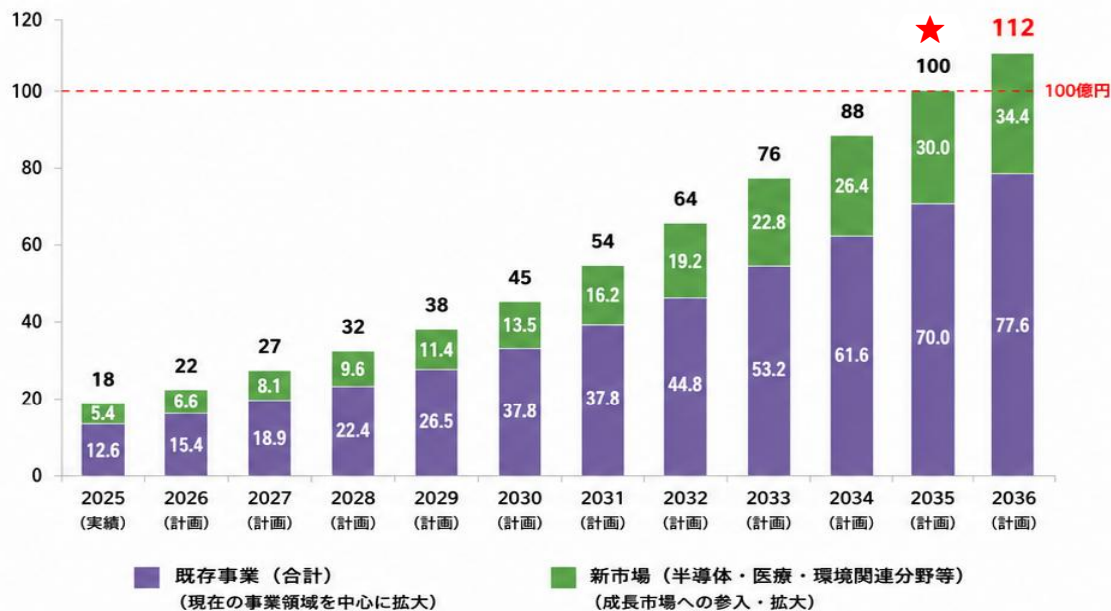
半導体・医療・環境関連など成長市場への参入を加速し、新たな収益の柱を確立する。

⑤ 経営基盤の強化

財務体質の強化とガバナンス体制の整備を進め、持続的成長と永続企業の実現を目指す。

売上高計画（2025年～2036年）

（単位：億円）



※2025年は実績値、2026年以降は計画値 ※2025年実績は決算数値に基づく